

## 平成24年度 事業報告

### I 環境保全活動促進協働事業

1

事業名	環境活動事例発表会
内 容	事業者、環境団体等が行っている環境保全活動の取組み事例の発表会を開催
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■日 時：平成24年4月26日（木）総会后開催</li> <li>■場 所：福井県国際交流会館 3階特別会議室</li> <li>■発表者：徳丸 健一 氏（中番環境を守る会） 「中番環境を守る会の活動について」 平田 豪 氏（あわら市社会福祉協議会） 「おもちゃの病院による ものを大切にする社会づくり」</li> <li>■参加者：100名</li> </ul>

2

事業名	ふくいまるごと環境学び舎【新規】
内 容	企業、団体、個人等との協働による講演、セミナーや体験活動を開催する
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■「ふくい環境フェア2012」におけるセミナーの実施 10月12日（金） <ul style="list-style-type: none"> <li>・三方小学校児童による創作劇の発表</li> <li>・俵越山氏の講演</li> </ul> </li> </ul>

3

事業名	環境バスツアー【拡充】
内 容	地球環境、循環社会形成、生物多様性などに分類し、3回実施する
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■地球環境コース「次世代エネルギーパークに出かけよう」 日時：8月21日（火） 行先：「富山太陽光発電所」、「常西公園、東町・東新町小水力発電所」 参加者数：41名</li> <li>■生物多様性コース「ラムサール条約湿地へ出かけよう」 日時：10月20日（土） 行先：「三方五湖」、「中池見湿地」 参加者数：36名</li> <li>■循環社会形成コース「リサイクル工場ツアー」 日時：11月6日（火） 行先：「J X金属敦賀リサイクル(株)」、 「(株)エフピコ中部リサイクル工場」 参加者数：22名</li> </ul>

4

事業名	環境マネジメント推進事業
内 容	主に事業所の環境管理者等を対象に、先進事例の見学会や講演会および研修会を実施する
	<p>■講演会・研修会の開催</p> <p>内容：環境に係る継続的な取組の改善に向けたセミナー、環境関連法令等の最新動向に関する講演会を開催</p> <p>対象：環境マネジメントを導入済みか関心のある事業所、または環境に関する取組を実施している事業所の経営者や環境管理者等</p> <p>日時：2月22日(金)</p> <p>演題：「ISO、エコアクション21を経営にどう活かすか」</p> <p>講師：環境経営コンサルタント 立山環境経営オフィス代表 立山 裕二 氏</p> <p>会場：国際交流会館 3階 特別会議室</p> <p>参加者数：50人</p>

5

事業名	市町環境連携事業【拡充】
内 容	市町および市町の推薦する民間団体が企画する事業に対しその一部を助成することにより、県内一円の環境保全活動の活性化を図る
	<p>■助成要件</p> <p>(1)環境保全に貢献する事業または県民の環境意識向上に寄与する事業</p> <p>(2)事業費が5万円超</p> <p>(3)各市町1件の枠</p> <p>(4)助成額：福井市：10万円/件、その他の市町：5万円</p> <p>■15市町より申請有</p> <p>福井市：福井市環境推進会議</p> <p>敦賀市：つるが環境フェア</p> <p>小浜市：マイバック推進事業</p> <p>大野市：越前おおの環境塾事業</p> <p>勝山市：赤とんぼと共に生きるプロジェクト</p> <p>あわら市：あわら市エコ市民会議</p> <p>越前市：アースデイ越前2012</p> <p>坂井市：エコネイチャー・さかい</p> <p>永平寺町：まちづくりと暮らしの総合フェスタ2012</p> <p>池田町：資源回収奨励事業</p> <p>南越前町：ダンボールコンポスト講座開催事業</p> <p>越前町：生ごみのリサイクルとごみの減量</p> <p>美浜町：美浜町環境パートナーシップ会議</p> <p>おおい町：ミミズで生ごみを肥料にリサイクル</p> <p>若狭町：若狭町環境フェア2013</p>

6

事業名	こどもエコクラブ活動促進事業【新規】
内 容	こどもエコクラブへの登録を呼びかけるとともに、活動しているクラブへの支援を行い活動の活性化を図る
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■助成額：壁新聞作成に係る経費の支援 1万円/クラブ</li> <li>■県内小中学校へ、こどもエコクラブの登録を依頼</li> <li>■13団体、937名が登録</li> <li>■こどもエコクラブ壁新聞助成 吉崎赤手ガニ環境調査隊（あわら市）</li> <li>■吉崎赤手ガニ環境調査隊が、壁新聞コンクールで「早稲田大学賞」を受賞し、全国フェスティバルへ出場</li> </ul>

7

事業名	ふくい環境貢献活動支援事業【拡充】
内 容	福井型 CO <sub>2</sub> 削減貢献事業やふくい生物多様性保全支援事業、ふくいおひさまクラブの活性化を図る
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■活動団体の募集（平成 24 年 5 月 1 日～平成 24 年 5 月 31 日）</li> <li>■募金募集(通年)</li> <li>■交付先 <ul style="list-style-type: none"> <li>環境ふくい CO<sub>2</sub> 削減貢献事業：8 団体</li> <li>ふくい生物多様性保全支援事業：7 団体</li> </ul> </li> </ul>

## II 普及広報事業

1

事業名	情報誌発行事業
内 容	環境問題や環境教育に関する情報、事業者やボランティア団体等が行う環境保全活動などを紹介する情報誌を発行する
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■発行回数：年2回（1回目：10月発行 2回目：3月発行）</li> <li>■発行部数：3,000部</li> <li>■配布先：協議会会員、小・中・高等学校、図書館、公民館等</li> </ul>

2

事業名	ホームページによる普及広報
内 容	新しくなったホームページを活用し、お知らせやイベント情報を充実する
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■環境ふくい推進協議会ホームページ <ul style="list-style-type: none"> <li>・随時、お知らせ、イベント情報を更新</li> </ul> </li> <li>■facebook <ul style="list-style-type: none"> <li>・環境ふくい推進協議会ホームページのトップに、facebook バナーを追加</li> <li>・イベント、活動について、リアルタイムに提供</li> </ul> </li> </ul>

3

事業名	メールマガジンの配信による普及広報
内 容	メールマガジンにより、さまざまな環境保全活動情報の提供を行う
	<p>今年度は、「イベントお知らせ編」と「法令編」の2つに分けて配信</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■「イベントお知らせ編」 <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月第2、4金曜日配信</li> <li>・23回配信</li> </ul> </li> <li>■「法令編」：随時配信中 <ul style="list-style-type: none"> <li>・8回配信</li> </ul> </li> </ul>

4

事業名	伝えたいふくいの環境【新規】
内 容	美しい福井の自然や心に残った環境保全活動等の写真をホームページに投稿し、福井の環境保全を促進するよう普及啓発を行う
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■身近な環境の写真を投稿するよう普及広報</li> <li>■環境ふくい推進協議会 facebook にて、市町から提供された写真をカバーにて順次紹介</li> </ul>

### Ⅲ 県との連携事業

1

事業名	ふくい環境フェア推進
内 容	<p>地球温暖化の防止、循環型社会の形成、自然環境の保全を促すため、「ふくい環境フェア」を開催する</p> <p>■時期：平成 24 年 10 月 12 日（金）、13 日（土）            ■場所：アオッサ、JR 福井駅東口広場、西口広場            ■内容</p> <p>10 月 12 日（金）            (1) シンポジウム：アオッサ県民ホール            ・三方小学校児童による創作劇の発表            ・俵越山氏の講演</p> <p>10 月 13 日（土）            (1) トークステージ：アオッサ会議室            ・「みんなで話そう！エネルギーの未来」            ・「里山ビジネス奮闘記」            ・「ダンボールコンポスト講習会」            ・『おいしい』だけじゃない、ふくいの水のヒミツ」</p> <p>(2) イベント・展示コーナー：JR 福井駅東口広場、西口広場  <b>【東口広場】</b>            「SATOYAMA」中池見、白山・坂口、コウノトリほか            「エネルギー」風力発電カー、手回し発電機ほか            「エコライフ」オリジナルマイバック作り、古着リメイクほか  <b>【西口広場】</b>            有機野菜等の販売、おもしろ自転車、ステージショーほか</p> <p>■来場者数：15,000 人</p>

2

事業名	ものを大切に作る社会づくり推進
内 容	<p>壊れて修理できなくなった小型家電等を廃棄せず、レアメタルの回収へとリサイクルしていく新たな運動の醸成・定着を図るため、自治体とリサイクル事業者が連携して廃小型家電の回収を行う</p> <p>■廃小型家電試験回収            小浜市（小浜市役所 1 階ロビー）において、11 月 15 日から回収ボックスによる廃小型家電の試験回収を実施。</p>

3

事業名	「おいしいふくい食べきり運動」推進
内 容	家庭や外食時の食べ残しを減らすことについて啓発を行い、ごみの減量化に取り組む
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 県健康福祉センターへ普及啓発について協力依頼</li> <li>■ あわら市において地域一体となった食べきり運動を展開するため、市民団体、女性団体、旅館等が参加した協議会を設立</li> <li>(1) 会議：4回開催</li> <li>(2) 主な事業内容 <ul style="list-style-type: none"> <li>① 各旅館での食べきりサービス、お客様への食べきりの声掛け（8月末から順次実施）</li> <li>② あわら市内の小学校において「給食食べきりチャレンジ運動」を実施（10月）</li> <li>③ あわら市民文化祭、環境展等での啓発活動</li> </ul> </li> <li>■ 食に関するイベントでの普及啓発（ふくい味の祭典 等）</li> <li>■ ホテルでの持ち帰りメニューの試行</li> <li>■ 消費者グループによる「食べきり運動」の普及啓発</li> <li>■ 食べきり運動ホームページのリニューアル(12月)</li> <li>■ 運動のキャラクター愛称決定「のっこさん」</li> </ul>

4

事業名	「自然再生ふくい」行動推進
内 容	身近な生物を、近くの小川、田んぼや家のまわりなどで再び見ることができるよう、身近な自然を守り育む運動実践のための活動を行う
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 自然再生支援隊派遣を通して自然再生手法の啓発 55回 小学校、公民館、各地域団体で実施</li> <li>■ 県内活動団体へのメールマガジンによる情報発信 10回</li> </ul>

5

事業名	里地里山保全活用推進
内 容	多くの生き物が生息する豊かな里地里山の保全再生活動の普及啓発を行う
	県内活動団体へのメールマガジンによる情報発信 10回

6

事業名	「1市町1エネおこし」推進【新規】
内 容	県内各地域の特色を活かした再生可能エネルギー事業の展開を図り、全ての市町に一つ以上の再生可能エネルギーが導入されるよう取組みを行う
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 「事業化をお考えの企業のための太陽光発電セミナー」開催 日時：平成 24 年 9 月 10 日（月） 内容：太陽光発電の事業化を検討する企業の方々を対象に、電力会社との契約やファイナンスなど、事業化を進める上での専門的な課題についてのセミナーを開催</li> <li>■ 公共施設屋根貸し事業化等、再エネ導入の取組が全県的に拡大</li> </ul>

7

事業名	ストップ乗りすぎ推進
内 容	みどりの自転車の活用など、車への過度の依存を避けるようホームページ等を活用した取組みを行う
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 県が実施する「イベント&amp;サイクル」の普及広報 イベント数 : 3回 利用者数 : 212名</li> <li>■ 県が実施する「自動車走行距離削減運動「トリオでレッツトライ！」」の普及広報 参加募集期間 : 5月21日～5月31日 基礎走行距離測定 : 6月1日～6月30日 トライ期間(1回目) : 7月1日～7月31日 トライ期間(2回目) : 11月1日～11月30日 参加チーム数 : 252チーム(756人)</li> </ul>

8

事業名	次世代(省エネ)自動車導入推進
内 容	自動車からの大幅な CO <sub>2</sub> 削減を図るため、次世代自動車（電気自動車・プラグインハイブリッド車）の試乗会や学習会を行う
	<ul style="list-style-type: none"> <li>■ 県が実施する「EVツアーモデル事業」の普及広報               <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 夏ツアー（平成 24 年 8 月 1 日～10 月 31 日） ツアー内容 嶺北中心の 3 コース ツアー結果 6 組催行</li> <li>(2) 秋・冬ツアー（平成 24 年 11 月 26 日～12 月 27 日） ツアー内容 嶺北中心の 2 コース ツアー結果 3 組催行</li> <li>(3) 県大生の考えたツアー（平成 24 年 11 月 26 日～平成 25 年 2 月 28 日） ツアー内容 日本海若狭づくしコース ツアー結果 22 組催行</li> </ul> </li> </ul>

9

事業名	ふくいのおいしい水プロジェクト推進
内 容	水道に占める地下水の割合が全国平均に比べ突出して高い本県の豊かな水資源の保全活動を進め、有効活用を図るよう支援を行う
	<p>■県内外のイベントで「ふくいのおいしい水」を配布、PR</p> <p>(1)6月24日 坂井市ライトダウンイベント</p> <p>(2)8月25、26日 おもしろフェスタ in サンドーム</p> <p>(3)8月25、26日 いしかわ環境フェア 2012</p> <p>(4)10月12、13日 ふくい環境フェア 2012</p> <p>(5)11月17日、18日 ふくい味の祭典</p> <p>(6)2月22日 環境マネジメントセミナー等</p>

10

事業名	きれいなまちづくり推進
内 容	地域の清掃や花の植栽等による環境美化活動について、普及広報を行う
	<p>■クリーンアップふくい大作戦へ参加呼びかけ</p> <p>■参加者数：89,403名（6月、9月、12月実施分、3月分は集計中）</p>

11

事業名	福井型環境教育・学習推進
内 容	里地里山里海での自然体験や農業体験などを写真で展示、環境教育・学習教材「エコワークブック」の活用を推進するなどして、環境教育を振興する
	<p>■環境フェアにおいて、「あたりまえがすばらしい！ふくいの里地・里山写真展」を開催</p>

#### IV 県補助事業

1

事業名	環境アドバイザー派遣事業
内 容	事業者、団体、学校、自治会等が開催する研修会へ講師（環境アドバイザー）を派遣する
	■環境アドバイザーについて周知を図り、講師を派遣 ・派遣件数：55件

2

事業名	ふくい環境フェア2012 開催事業
内 容	「LOVEアースふくい」、「ものを大切にする社会づくり」、「自然再生ふくい」等の県民運動の普及啓発および推進するため、環境フェアを開催する
	■時期：平成24年10月12日（金）、13日（土） ■場所：アオッサ、JR福井駅東口広場、西口広場 ■内容 10月12日（金） (1)シンポジウム：アオッサ県民ホール ・三方小学校児童による創作劇の発表 ・俵越山氏の講演 10月13日（土） (1)トークステージ：アオッサ会議室 ・「みんなで話そう！エネルギーの未来」 ・「里山ビジネス奮闘記」 ・「ダンボールコンポスト講習会」 ・「『おいしい』だけじゃない、ふくいの水のヒミツ」 (2)イベント・展示コーナー：JR福井駅東口広場、西口広場 【東口広場】 「SATOYAMA」中池見、白山・坂口、コウノトリほか 「エネルギー」風力発電カー、手回し発電機ほか 「エコライフ」オリジナルマイバック作り、古着リメイクほか 【西口広場】 有機野菜等の販売、おもしろ自転車、ステージショーほか ■来場者数：15,000人

3

事業名	ものを大切に作る社会づくり事業
内 容	壊れたものを修理して使う、いらなくなったものをほしい人に譲るなど、修理する文化、リサイクル文化の定着を目指した取り組みを実施する (1) 修理工房やフリーマーケット（古本市）、おもちゃの修理ボランティア養成講座 などの開催 (2) 修理店やフリーマーケットの開催情報をホームページ等で提供等
	■開催回数 (1) 古本市：75回 (2) おもちゃの病院：8回 (3) おもちゃドクター養成講座等：6回（ドクター養成総数139名） (4) 修理工房：1回 (5) 若狭地区におもちゃ修理グループが設立 (6) 親子リサイクル体験教室：1回

4

事業名	子ども船乗り体験事業
内 容	子どもに海の自然環境を体感させ、環境保全意識を醸成し豊かな感性を育むため、小・中学生を対象に里海での船乗り体験を実施する (1) 学校単位で参加校を募集し、漁船等での漁業体験や自然観察会等を実施 (2) 乗船料、バス借上料等を助成 (3) 開催時期：5～11月
	■実施済学級数：64学級

5

事業名	ふくいエコ活動応援事業
内 容	環境保全活動のより一層の推進を図るため、地道に環境保全活動に努められた活動団体について表彰を行う
	■平成24年度総会時に表彰を実施(4/26) 個人3、 団体2、 学校2、 企業1 を表彰

## V 特別会計

1

事業名	特別積立金
内 容	記念事業に向けた積立て
	10万円を特別会計へ

2

事業名	ふくい環境貢献活動支援事業 (1)環境ふくい CO <sub>2</sub> 削減貢献事業
内 容	県民・事業者から提供された資金と県の補助により、CO <sub>2</sub> 削減活動や水環境の保全活動などを実践する団体へ助成する
	<p>■活動団体の募集：平成24年5月1日（火）～5月31日（木）</p> <p>■活動団体の決定：8団体（7月13日募金委員会にて決定）</p> <p>※活動団体は下記のとおり</p>

平成24年度環境ふくいCO<sub>2</sub>削減貢献事業 オフセット先一覧

No.	市町	申請団体	代表者	活動名称	活動概要	認定額	CO <sub>2</sub> 吸収量・削減量（試算）
1	坂井市	のうねの郷づくり推進協議会	会長 水崎 亮博	里山（味岡山）の再生	味岡山（3,000㎡）の杉約100本と雑木約50本を、小学生も参加し間伐する。間伐に参加することで自然探求の場を自らの手で整備し、学校での環境学習に役立てる。	666千円	1,230kg-CO <sub>2</sub>
2	あわら市	中番環境を守る会	会長 徳丸 健一	中番・下番区の森の再生	ケヤキ、シイ、タブの植樹および間伐（800㎡）を行い、地域住民や子供の集う場となっている森の整備に住民およびその子供たちで取り組む。	428千円	328kg-CO <sub>2</sub>
3	あわら市	北潟の森協議会	会長 河田 勝治	北潟海辺の森プロジェクト	松くい虫や潮害により壊滅状態にある北潟沿岸の松を、間伐、植樹（2,000㎡）を行うことにより、多様な生物が生きる環境教育の場として整備する。	564千円	820kg-CO <sub>2</sub>
4	鯖江市	越の郷（このさと）地球環境会議	理事長 武井 幸久	どんぐりからの森づくり	鯖江市内外から一般参加を募り、3年間で育てた広葉樹の苗を含む2,000本の苗をラポーゼかわだの森（2,000㎡）で植樹し、どんぐりからの森づくりを行う。	843千円	820kg-CO <sub>2</sub>
5	越前市	八ツ杉千年の森づくり実行委員会	会長 内田 良栄	千年未来を見据えた地球温暖化防止の森づくり活動	八ツ杉千年の森（1,000㎡）と赤坂の森（4,800㎡）で間伐と植樹を行う。活動には東京の子どもたちが自然体験活動として参加する。	625千円	2,378kg-CO <sub>2</sub>
6	鯖江市	さばえNPOサポートハッピープロジェクト委員会	理事長 八田 登師男	地域通貨の発行	イベント時に自転車、公共交通機関で来場の際、協賛店で使える地域通貨を発行し、自転車や公共交通機関の利用促進につなげる。	105千円	1,742kg-CO <sub>2</sub>
7	小浜市	若狭森林の会	代表 博美	徳庄 杉間伐材を使ったまきストーブの普及	薪ストーブを森の水PR館に設置し、石油ストーブと代替する。ストーブについて来場者に親しんでもらうと共に薪割りイベント等で間伐材の利用促進を呼び掛ける。	343千円	252kg-CO <sub>2</sub>
8	越前市	石神の湧水保存会	代表 奥山 薫	石神の湧水施設整備事業（導水管）	水源地から水汲み場までの400mの導水管の内、130mの導水管を整備し、安定した水の供給をできるようにする。	800千円	
計						4,374千円	7,570kg-CO <sub>2</sub>

事業名	<b>ふくい環境貢献活動支援事業 (2)ふくい生物多様性保全支援事業</b>
内 容	県民・事業者から提供された資金と県の補助により、生物多様性保全活動を実践する団体へ助成する
	<b>■活動団体の募集：平成24年5月1日（火）～5月31日（木）</b> <b>■活動団体の決定：7団体（7月13日募金委員会にて決定）</b> ※活動団体は下記のとおり

**平成24年度 生物多様性保全支援事業採択団体一覧**

No.	市町	申請団体	代表者	活動概要	認定額	活動予定者数
1	福井市	安居の里を守る会	会長 重森 正雄	ホテル、ミズアオイ、ハッチョウトンボの保護のため、ビオトープを整備	525千円	200人
2	南越前町	ヤシャゲンゴロウを育てる会	会長 奥野 宏	ヤシャゲンゴロウの餌となる水生昆虫などの培養を行い、生息池に近い環境状態を確保	360千円	24人
3	勝山市	小原ECOプロジェクト	代表 國吉 一實	草刈りや保全地区の規制を行うことで、希少種ミチノクフクジュソウを保全	320千円	120人
4	若狭町	鳥羽を考える会	会長 藤内 良満	休耕田を活用し、コウノトリの餌場を整備	300千円	34人
5	越前市	郷の森 里楽（りらく）	会長 上野 直之	アベサンショウウオの産卵地、サワギキョウ・カキラン等の保全	245千円	50人
6	鯖江市	茂右衛門農場	代表 杉本 紀衛子	メダカ、カエル、フナなど水田の生き物の保全のため、退避溝、退避池を整備	150千円	9人
7	越前市	武生めだか連絡会	会長 奥村 充司	ため池における外来種（アメリカザリガニ）を駆除	100千円	80人
計					2,000千円	

3

事業名	<b>エコポイント事業特別会計</b>
内 容	国が実施するグリーン家電普及促進事業（家電エコポイント）、環境対応住宅普及促進事業（住宅版エコポイント）による当協議会への環境寄付を活用し、普及啓発に関する事業を実施する
	<b>■環境フェアにおいて、俵越山氏によるシンポジウムを開催</b>

4

事業名	<b>ふくいおひさまクラブ特別会計【新規】</b>
内 容	住宅用太陽光発電設置により削減されるCO <sub>2</sub> 量を集約し、国内クレジット制度を利用しクレジット化し、クレジット売却益はCO <sub>2</sub> 削減活動に活用する